



Topics ~循環器診療に役立つ、最新の話~

Impellaとは？

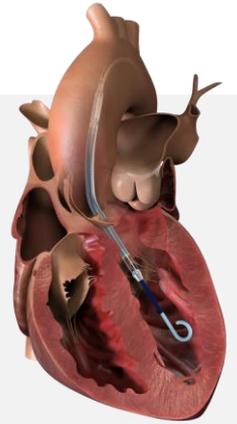
心筋梗塞は“door to balloon”から“door to unload”へ

ご存知のように心筋梗塞は発症からの時間が重要です。これまで、できるだけ早くPCI（心臓カテーテル治療）により再灌流するべきということで、“door to balloon time”が重視されてきましたが、近年、Impella（インペラ）という補助循環装置が登場したことにより、この概念が覆ろうとしています。

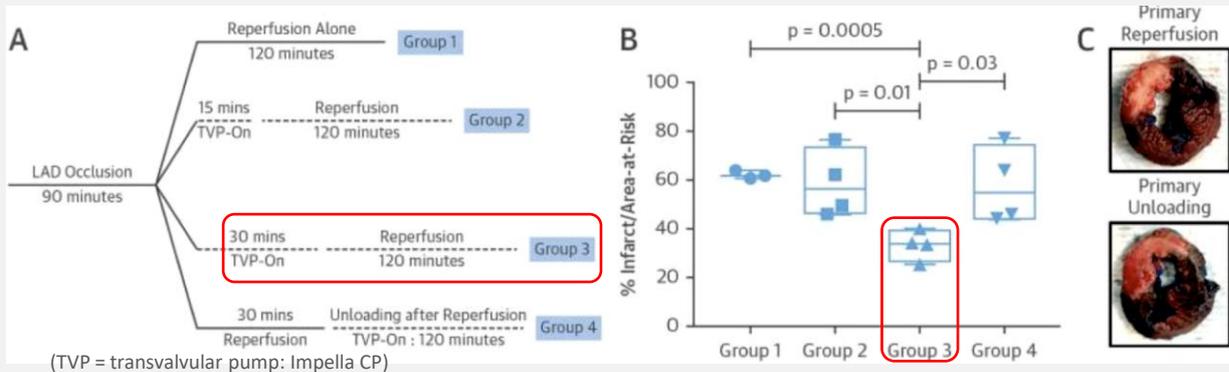
Impellaは、小型のポンプカテーテルを左室内に挿入することにより循環を補助するとともに、心室から直接脱血することでunload（左室負荷軽減）できることが特徴です。

2018年、心筋梗塞に先立ちImpellaを留置しunloadすることで梗塞サイズが縮小したという動物での報告がありました*1。酸素消費を低下させることで心筋障害の進行を抑える効果とともに、再灌流障害による心筋障害も抑制する効果があることが示唆され現在臨床研究が進行中です。今後は、できるだけ早く再灌流する“door to balloon”から、できるだけ早く左室負荷を軽減する“door to unload”が重視されるようになる可能性があり、治療方針の大きな転換になると考えられます。

2019年よりImpellaは日本でも承認され当院でも積極的に使用しておりますが、まだ使用できる施設が限られています。また、急性心筋梗塞に対してPCI症例数が少ない施設ではプライマリーPCI後の死亡率が高いという報告もあり*2、今後より一層、集約化された施設での治療が、患者様にとって良い結果をもたらすものと考えられます。当院のPCI件数は2021年埼玉県3位でした。埼玉県南部の心臓カテーテル治療の要として今後も積極的に虚血性心疾患の患者様を受け入れて参ります。



ABIOMED



*1 Michele L. Esposito, MD, Yali Zhang, MD, PHD, et al: Left Ventricular Unloading Before Reperfusion Promotes Functional Recovery After Acute Myocardial Infarction. *J Am Coll Cardiol.* 2018 Jul 31; 72(5): 501–514.

*2 SAITO Y, Inohara T, Kohsaka S, Ando H, et al: Volume-Outcome Relations of Percutaneous Coronary Intervention in Patients Presenting With Acute Myocardial Infarction (from the J-PCI Registry). *Am J Cardiol.* 2023;192:182-189.

文責 石塚 淳史

スタッフ紹介 Vol.11



石塚 淳史

医師

循環器内科 科長

2012年 日本医科大卒

神奈川県平塚市出身です。20代の頃は都内のバーで転々とアルバイトをしていました。六本木のSoul Music Barに入り浸り、時間を忘れ昼まで語り明かしていたのも良い思い出です。今となってはすっかり酒に弱くなり、酒に飲まれぬようやっていますが、埼玉のバーも開拓していきたいと思っています。急性心筋梗塞の砦として、これからも尽力して参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

